

雪の上に動物の足跡を探してみましよう!

ホンドギツネ (学名: *Vulpes vulpes japonica*)

[イヌ科 キツネ属]



キツネは、誰でも名前を知っている馴染みのある野生動物ではないでしょうか。しかし、夜行性の動物であるため、自然が豊かな只見町でも、実際にその姿を目にすることはそう多くはありません。

ホンドギツネは、頭胴長60~75cmほどの大きさで、他のキツネと同様に長い尾が特徴的です。写真は三石神社の森にすむキツネです。9月に撮影されたもので、スマートでりりしく見えます。本州から九州まで生息しており、世界的に広く分布するアカギツネの亜種とされています。ネズミや鳥類、昆虫など主に小型動物を食べますが、果実類などを食べることもあります。

そんなキツネをより身近に感じられる季節が冬です。それは、雪の上に足跡が残るからです。キツネの足跡はタヌキやイヌに似ていますが、たて長で、肉球が小さいのが特徴です。また、肩幅が狭いため左右の足跡がほぼ一直線上に並びます。前足を置いたところに後ろ足を重ねて置くので、前後の足跡が重なって見えます。キツネの足跡を追えば、どこから来て、どこへ行ったのか、キツネのくらしがわかるかもしれません。ぜひみなさんもキツネの足跡を探してみてください。

企画展示

只見の自然に生きる!
只見町の野生動物とその生態

期間 10月12日(土)~12月28日(土)まで

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

只見町に生息する野生動物とツキノワグマを生態や人との関わりについて解説パネルなどで紹介します。上のような只見町で撮影されたセンサーカメラの写真も豊富に展示しています。剥製や頭骨、関連書籍などもあります。お問い合わせの上、ぜひご来場ください。

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています



すずき ひなの
鈴木 雛乃さん(只見)



ほし ゆずは
星 柚子葉さん(二軒在家)



よこた みゆ
横田 心結さん(大倉)

虫歯
のない
子

 (11月19日)
3歳児健診